

熊本大学シラバス

基本情報

授業科目名	(日)	実践臨床薬学実習(I)
	(英)	On-the-job training (I) for clinical pharmacists at hospital

時間割コード		開講年次	2年次
学期	前・後期	曜日・時限	月～金、全日
講義題目	実践臨床薬学実習		
担当教員	入江徹美		
科目コード		科目分類	実習
選択/必修	必修	単位数	8

詳細情報

授業形態	医療の最前線でのOn-the-Jobトレーニング(実地実習)である。さらに、臨床現場のニーズを深く掘り下げ、医療の質向上に貢献するための臨床参加型課題研究を実施する。
授業の目標	6年制薬学教育で培ってきた「薬物療法における実践的能力」をさらに伸張することを学習目標とする。具体的には、臨床現場での実地実習を通して、薬物療法を総合的に評価し、安全で有効な医薬品の使用をさらに推進するために、医薬品を供給し、調剤、服薬指導、処方設計の提案等の薬学的管理を実践し、さらに治験や臨床試験を実施及びコーディネートすることにより、医療の質向上に貢献する。
授業の内容	<p>「薬学教育モデル・コアカリキュラム」および「実務実習モデル・コアカリキュラム」に準拠した6年間の薬学教育を通して経験した臨床参加型実習を基盤として、薬剤師としての責任ある立場で、薬物療法における実践的能力、特に新生児・小児の薬物療法における薬学的管理能力を、1年間の臨床実習を通して、さらに伸張することを目標とする。</p> <p>具体的には、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科薬物動態制御学分野(薬剤部)の協力を仰ぎ、以下の行動目標を達成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の医療スタッフとの協働のもと、新生児・小児における適切な薬物治療に薬学的観点から貢献する。 ・他の医療スタッフとの協働のもと、新生児・小児患児の治療的薬物モニタリング(TDM)データを解析し、薬物治療の適正化に寄与する。 ・新生児・小児における薬物治療の問題点(therapeutic orphans)およびその発生要因を抽出・整理する。 ・新生児・小児において、既存医薬品の治療薬としての満足度が低い特定疾病を例にとり、新規に開発すべき医薬品並びに投与形態(投与方法や剤形など)を提案する。 ・臨床試験計画書、申請書、患者(対象となる新生児・小児患児の代諾者を含む)への説明文、同意書および同意撤回書を作成する。 ・作成した臨床試験に関する書類をもとに、病院内の臨床研究倫理委員会において、臨床研究の科学性と倫理性を説明する。 ・適切な治験や臨床試験を実施する上で、被験者の人権の保護と安全性の確保、および福祉を最優先して、臨床研究コーディネーター(clinical research coordinator, CRC)の業務を実践する。 ・新生児・小児の薬物治療における臨床現場のニーズを把握した上で、問題解決のための課題研究を実施する。
キーワード	新生児・小児の薬物治療、新生児集中治療室(NICU)、ICHガイドライン、GCP、CRC、臨床試験法、インフォームド・コンセント
テキスト	特に、指定しない。必要に応じて、参考資料をWebCT上に掲載あるいはプリント配布する。
参考文献	「厚生労働省 医学研究に係る指針一覧」、「熊本大学生命科学研究部等 生命倫理に関する規則」、「鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 臨床研究に関する倫理規則」など
評価方法・基準	【評価方法】 学習プロセスの形成的評価は、e-portfolioを用いて、双方向送信で定期的(月1回程度)に行う。本実習の総括的評価は、課題に対する理解度、発表内容、および最終レポート内容から総合的に評価する。【評価基準】 本実習終了時に実施する実習内容のプレゼンテーションおよびレポートの成績が6割以上を合格とする。成績評価の点数配分は、「実習の総括的評価」(70点)、e-portfolioの評価(30点)、合計で100点満点とする。なお、実習で得られた成果を学会等で発表した場合には、評価点を加算する。
履修上の指導	生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲を持って、本実習に積極的に取り組んでもらいたい。さらに、本実習は、将来、日本臨床薬理学会認定薬剤師及び小児薬物療法認定薬剤師を取得する上での一助となる。
事前学習	本実習は、学部教育における「薬学教育モデル・コアカリキュラム C17医薬品の開発と生産」および「実務実習モデル・コアカリキュラム 病院実習」のアドバンストな内容に相当するので、それらの学習内容を自己復習した上で、実地実習に臨んでもらいたい。
事後学習	本実習を通して修得した内容をより深く理解し自分のものにするためには、今後の大学院における研究や薬剤師業務に積極的に活用していくことが大切である。